

令和2年度 機械工学科入学生 カリキュラム体系図

	令和2年度前期 1年前期	令和2年度後期 1年後期	令和3年度前期 2年前期	令和3年度後期 2年後期	到達目標
					卒業研修
総合科目	創成実験実習 総合工学	機械情報工学演習 → 機械工学実験Ⅰ → 機械工学実験Ⅱ		産業組織と工学倫理	機械工学とその他の分野の融合を図ることができ、新たなものづくりを展開することができる。 科学的・技術的課題に対し、チームワークにより問題設定・解決ができる。 技術者倫理の知識があり、自己の技術行為に責任を持つことができる。
機械専門科目	機械工学応用 機械設計 機械工学基礎	ロボティクス基礎 機械製図法Ⅰ 機械工学演習	機械設計 機械製図法Ⅱ 材料力学Ⅰ 流体力学Ⅰ 熱力学Ⅰ	燃焼工学 機械計測 工業材料 機構学 機械CAD 材料力学Ⅱ 流体力学Ⅱ 熱力学Ⅱ 自動制御 機械設計製図 機械製作法 CAE基礎 材料力学Ⅲ 流体力学Ⅲ 熱力学Ⅲ 機械振動工学	機械工学に関する幅広い基礎知識を有し、それらを工学の諸問題の解決に応用できる。 機械工学、設計および機械の基本原理を身につけ、ものづくりに活かすことができる。 機械工学の基礎である、材料の変形、流体现象、熱および振動についての知識を持ち、その現象を理解することができる。
工学基礎科目	物理・化学系 数学系 情報系	工学基礎演習Ⅰ 物理学基礎 微分積分学 線形代数学 工学解析	工学基礎演習Ⅱ 基礎化学演習 微分積分学演習 線形代数学演習 応用数学Ⅰ	電気工学概論 応用数学Ⅱ 情報工学概論	工学基礎としての物理学、化学の基礎知識を使うことができる。 工学基礎としての数学の基礎知識を使うことができる。 機械技術者として、自らの考えを相手に正確かつ適切に口頭で伝えることができる。
金属工学特設科目		鉄鋼工学概論 金属組織学	化学熱力学 鉄鋼材料学	金属物理化学 金属強度学	金属の特性、加工方法を身につけ、ものづくりに活かすことができる。